

千葉大学、農業の魅力発信コンソーシアムと連携し、PBLプログラムを実施します ～「千葉市と国立大学法人千葉大学との包括的な連携に関する協定」に基づく取り組み～

千葉市では、「千葉市と国立大学法人千葉大学との包括的な連携に関する協定」に基づき、千葉大学および農業の魅力発信コンソーシアムと連携したPBL（プロジェクト型学習）プログラムを実施しますので、お知らせします。

1 趣旨

農業の魅力を発信し、若者にとって農業が魅力的な職業の選択肢となることを目的として、千葉大学生を対象としたプログラムを実施します。

本プログラムでは、日本の農業界の現状および動向を学び、農業の可能性や魅力を体感するとともに、千葉市が行う各種農政施策について、実務者である本市農政部の職員を交えて、企画提案を行うワークショップを実施します。

この取り組みを通じて千葉市農業の未来やあるべき姿について考察し、自分たちでできることは何かを考え、行動につなげることを目指します。

2 開催概要

（1）実施期間

令和7年8月～12月の間に全5回実施

（2）実施場所

千葉市ふるさと農園（花見川区三角町656-3）

（3）参加学生

千葉大学生（9人）

（4）各回日時および内容

- ・DAY1 8月29日（金）13：30～16：30
日本の農業の現状について学び、農業界に必要な施策について考える。
- ・DAY2 9月12日（金）13：30～16：30
「千葉市次世代向け農育講座」をベースに、子供たちに農業を理解してもらい、将来の農業関係人口を増やすための施策について考える。
- ・DAY3 10月18日（土）13：30～16：30
千葉市の新規就農研修「千葉市ニューファーマー育成研修」について学ぶとともに、新規就農者と意見交換を行う。
- ・DAY4 11月23日（日・祝）10：00～15：00
「千葉市ふるさと農園」を会場に、市民の農業理解を促進するための施策について考える。
- ・DAY5 12月13日（土）13：30～16：30
これまでの振り返りを行うとともに、企画案発表を行う。

3 取材について

現地での取材を希望する場合は、各開催日の2日前までに農政課(電話245-5756)へご連絡ください。

＜参考＞農業の魅力発信コンソーシアムについて

農林水産省の補助事業を活用して、これまで農業とは縁がなかった方々が農業に関心を持つきっかけをつくるために、「実際に農業現場で活躍している農業者の姿を通じて、他の職業にはない農業の魅力を知らせることが重要」という共通の意識を持つ企業が結集し、「農業の魅力発信コンソーシアム」が設立されました。

【URL】<https://yuime.jp/nmhconsortium/>



○参加企業（50音順）

株式会社おてつたび

株式会社マイナビ（「マイナビ学生の窓口」「マイナビ農業」）

株式会社マイファーム

YUIME 株式会社（情報サイト「YUIME Japan」）

○事務局

株式会社マイファーム

※本件に関するプレスリリース

【URL】<https://myfarm.co.jp/news/>



○活動内容

- ・若者にとってのロールモデルとなる農業者の情報発信
- ・農学部を有する大学と連携し、講義プログラムを展開
- ・職業としての農業の魅力を知るきっかけとなるプログラムの実施
- ・メディアに向けたロールモデル農業者の情報提供と取材協力